

キャラクター名
八神 絢(ヤミア)

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス ウロボロス	ワークス	ハッカー	カヴァー	
オプション		年齢	19	性別	女性
覚醒	素体	衝動	破壊	初期侵食率	42 %
出自	政治権力	経験	大失敗	邂逅	救済

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	2	0	0			2	行動値	12
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	12
精神	4	1	0			5	戦闘移動	17
社会	0	0	3			3	全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉	1	
回避			知覚			意志	1		調達	2	
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	2		情報:裏社会	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:ウェブ	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
=====		0	cost	timing		=====
アクティベーション		0	3	セット		ラウンド間 攻+21 ドッジダイス-2
		0				ラウンド間 攻+30 ドッジダイス-2
クリスタルランス	RC	5r+2	7	Xジャ		範囲 / 攻:18 / C値7 / 同エンゲージ不可

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
UGNボディアーマー(購入)					

所持品	
インゲーム/『ドロップアウト』	
インゲーム/『神の落とし子』	
インゲーム/『デリバリー』	
医療トランク	
iPhone7	
レネゲイドチェッカー(購入)	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
[戦闘用人格-デュアルフェイス]	P	N		
父親[OR]	P 感服	N 憎悪		
scenario: 怪死事件	P 好奇心	N 不信感		
赤子桜ノマヨイガ	P 執着	N 恐怖		
"篡奪者"ギルガメッシュ	P 尽力	N 無関心		
	P 親切	N		
	P	N		

最大財産P: 10 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
果て無き円環:[赤]	1	+3	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	《原初の赤》を二つ取得可能							
[黄]活性の霧	7	3/+3	セットアップ	至近	単体	自動	-	
効果:	ラウンド間 攻+[Lv*3] ドッジダイス-2							
[赤]氷の塔	6	5	Xジャ	視界	範囲選	RC	-	
効果:	攻:[Lv*3] 同エンゲージ不可							
[赤]雷の剣	1	3/+3	Xジャ	至近	-	RC	-	
効果:	攻+5 同エンゲージ不可無視 シーンLv							
C:ウロボロス	3	2	Xジャ	-	-	シンドローム	-	
効果:	C値-Lv							
faker:タピオカ&オア	1	1/+1	Xジャ	視界	効果	自動	-	
効果:	電波傍受or 音声や画像等を送信							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

成人してないながらもハッカーとして働く19歳の少女。
父親が政治家でありレネゲイドに関しての多少の知識を得ており、"そちら"へのコネを得るために
神城グループ傘下のレネゲイドの研究を行うセクションに研究員として自分の娘を伸ば上げた。

研究員になる為、色々と仕込まれたお陰で特に"大きな問題"は発生せず溶け込むことはできた。
だが、研究中に大きなミスをしてしまい、研究所内部での地位を失ってしまう。

父親は術を勤当し、被検体として組織に提供した。親子の縁より組織とのコネを取ったのだ。
人体実験の被検体とされ、数人いた被検体のうち絢のみが成功例として覚醒した。
より質の高いオーヴァードの作成。二重人格という弊害は出たが実験の内容として術は成功例であった。

実験の成功例として祭り上げられた数日後、研究所がFHとの協力を画策している事を知る。
そして、自分はもう一度"モルモット"と同じように使われるだろう。
そんな自分の未来を想像し、深夜研究所から脱出した。

その後UGNに保護され、イリーガルとして協力する代わりに身の安全を保証してもらっている。